

～少人数でコストをかけず評価するには?/外部委託する場合の測定・評価の留意点は?～

1名分料金で
2人目無料

皮膚の測定・評価法と 化粧品の有用性評価試験実施のポイント【LIVE配信】

- ◆日時:2026年7月31日(金) 12:30~16:30
- ◆会場:自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆聴講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

セミナーHP <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260740>

- ※会員登録(無料)をされていた方には下記の割引・特典を適用します。
- ・1名でお申し込みされた場合、1名につき**46,200円(税込)**
 - ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※講師のご略歴等の詳細は弊社HPでご確認下さい

宮本 久喜三 氏【元大手化粧品ブランド 研究開発部リサーチフェロー 博士(医学)】

《ご専門》 皮膚老化及び抗皮膚老化の研究及びに画像技術を用いた皮膚の臨床的評価及び診断方法の開発に30年以上従事。皮膚(主に顔面皮膚)の老化指標の標準化、皮膚医学、医薬部外品、化粧品の効果効能法の確立

【講座趣旨 / プログラム】 ※詳細内容は弊社HPでご確認下さい

化粧品、特に最近のスキンケア製品は多様化した消費者のニーズに応えるためにも様々な機能性が謳ってある。スキンケア製品の多様な機能性に対応した有効性を実際の人の皮膚で検証しておくことは自身の製品の効果を保証するためにも、消費者の便益においても重要である。本講座ではスキンケア製剤に有用性評価を臨床的に検証する試験を計画するときに必要な基礎知識を習得する。また目的を明確にしてムダなく効率的で且つ科学的に客観性がある試験計画の立て方と、効果訴求に対応した精度の高い測定方法について理解を深めていく。なお本セミナーは、2014年から2016年にかけて、好評裏を得た技術講座「皮膚の測定・評価法と化粧品の有用性評価試験実施のポイント」の内容を発展的に継承するものである。テキストも、最近10年間に起こったスキンケア市場の変化に応じて講師が実践・経験した内容を加えるなど、大幅な改訂を行っている。また国内だけではなく、海外、特に中国市場における化粧品の規制も考慮した評価内容を示唆する。自社のスキンケア製品を実際の皮膚を用いて効率的に測定し、有効性を立証したい方を対象に、試験で起こりえる多様なトラブルを予め理解し、アピールしたい目的に応じた臨床試験を短期間且つ低コストで実施するノウハウを分かりやすく解説いたします。このようなニーズをお持ちの方、ぜひ、ご参加ください。

- | | | |
|--|--|--|
| <p>1. はじめに</p> <p>2. スキンケア化粧品の臨床効果試験とは</p> <p>2.1 試験の目的</p> <p>2.1.1 スキンケア効果の分類
(視覚的評価、物理的特性評価)</p> <p>2.1.2 効果データの使用目的
(処方スクリーニング、最終製品の訴求)</p> <p>2.2 皮膚の構造とスキンケア製品塗布効果の関係</p> <p>3. スキンケア製品効果試験の計画</p> <p>3.1 少人数・低コストで実施するための実務ポイント</p> <p>3.1.1 最小限の機器で最大限の情報を得るには</p> <p>3.1.2 被験者数を抑えて
統計的に意味を持たせるための手法</p> <p>3.1.3 社内で行える簡易官能評価とは</p> <p>3.1.4 低コストでの試験実施、モニター募集・運用方法は</p> <p>3.1.5 以上を踏まえた上での試験期間、
測定室の環境設定(温度、湿度、照明)</p> | <p>3.1.6 試験機関の選択
(社内で行うか、外部機関に委託するか)</p> <p>3.1.7 その他測定環境で整えておくべき注意点</p> <p>3.2 外部委託する場合の測定・評価の留意点</p> <p>3.2.1 試験機関の選定基準</p> <p>3.2.2 委託前に必ず確認すべき項目</p> <p>3.2.3 トラブルになりやすいポイント</p> <p>3.2.4 委託時のコストの考え方</p> <p>3.2.5 推奨委託先機関</p> <p>4. 皮膚測定方法</p> <p>4.1 視覚的皮膚画像解析方法</p> <p>4.1.1 皮膚の色味に関する測定:
皮膚色/シミ/くすみ/ニキビ等</p> <p>4.1.2 皮膚の表面形状に関する測定:
キメ/毛穴/シワ(小じわ)(2D/3D測定)</p> <p>4.2 物理特性測定方法</p> <p>4.2.1 角質水分量</p> | <p>4.2.2 バリア機能(表皮水分蒸散量)</p> <p>4.2.3 皮脂分泌量</p> <p>4.2.4 皮膚弾力量</p> <p>4.3 その他特徴的な皮膚測定方法について</p> <p>4.4 バラつきを抑えた測定方法のコツ
(測定再現性、測定者の測定精度、等)</p> <p>5. 被験者の選択</p> <p>5.1 目的とする有用性を立証するための被験者選択基準、方法</p> <p>5.2 適切なn数とは</p> <p>5.3 バラつきを抑えるための被験者の事前選択</p> <p>5.4 被験者測定スケジュール調整</p> <p>5.5 その他気を付けておくべきこと(同意書、個人情報データ等)</p> <p>6. 試験の実施</p> <p>6.1 上記試験計画書に則った試験実施の確認</p> <p>6.2 実施前のリハーサル</p> <p>6.3 試験データの解析、まとめ方</p> <p>6.4 その他</p> <p>7. 総括、今後の展望について 【質疑応答】</p> |
|--|--|--|

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

- 1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら(https://zoom.us/download#client_4meeting)からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
- 2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
- 3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。

・セミナー資料は開催前日までに送付いたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『皮膚測定【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学	
住所	〒
電話番号	FAX

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

 Eメール 郵送